

授業科目名	精神看護学実習(2300409)		
時間割名	精神看護学実習(70213)		
時間割担当	東中須恵子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

精神科医療現場を臨地実習場所とする。そこでの臨床実践を通して精神科医療の現実を理解するとともに、精神障がい者との関わりを通して精神障害の多様な側面を学習し理解する。また、関わりの中での自己のあり方（感じる力や振る舞いなど）が精神看護のケアの基盤であることを理解する。精神看護における対象理解の思考過程能力を身につけるために、看護過程において特にアセスメントを重視し、複雑な臨床現象の多面的な把握とその分析を丹念に行う。更には、精神看護の地域への視点や人権擁護の視点を理解できる能力を身につける。

学習の到達目標

- 1.対象者のセルフケアを、身体的・精神的・社会的な側面から理解できる。
- 2.チームにおける対象者の社会復帰に向けた支援の方法を理解し、課題について考えることができる。
- 3.精神看護実践を通して自己成長と成熟につとめ、自己を客観視できる。

授業方法・形式

臨地実習

授業計画

1. 2週間の臨地実習
（2日間学内学習、1日はデイケアまたは作業所）

* 詳細は精神看護学実習要項で示す。

成績評価の基準

1. 4/5以上出席した者について評価を行う。
2. 具体的に評価基準を設ける。

* 成績評価の基準については実習要項で示す。

授業時間外の課題

1. 臨地実習前に担当教員による学習課題に沿った課題学習を行う。
精神保健福祉法に定める入院の形態、人権擁護、インフォームドコンセントについて
障害者総合支援法の概要と問題点
精神疾患に起因する「症状」と「日常生活行動の変化」
精神科における主な治療
精神障害者のコミュニケーションの特徴
「社会的入院」
など、実習要項に詳細に示す。

メッセージ

* 自己の障害者観（感）を明らかにして実習にのぞんでほしい。また、自分自身が身体的・精神的・社会的に健康でないと対象者を客観的にアセスメントすることができません。自分自身を振り返りつつ有意義な時間を過ごしてほしいと思います。

教材・教科書

- 「看護学生のための精神看護学概論」 大学教育出版
「系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学」 医学書院
「新体系 看護学全書 精神看護学」メジカルフレンド社

参考書